



# 上末っ子

令和4年9月30日

## 10月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>



学校ホームページ用QRコードです。  
「学校の様子」から各学年の様子を  
ご覧いただけます。

## 交通安全

～子どもの命を守るために～

校長 内田 宏平

9月21日から9月30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が行われていました。

本校では、日頃から学援隊の皆さんやPTA 校外委員の皆さん、地域の方々が子どもたちの登下校の様子を見守ってくださっています。

また、9月12日を「子ども安全安心の日」とし、PTA 校外委員の皆さんが町会ごとに学区や通学路の安全を確認してくださいました。(9月28日配布「校外だより」)

子ども自身が交通安全を意識して主体的に行動できるようになるまでは、大人による粘り強い働きかけが必要です。学校でも、交通安全教室や学級指導を通して登下校時の安全について継続的に指導していきますので、ご家庭でも、繰り返しご指導いただきますようよろしくお願いいたします。言って聞かせることも大切ですが、実際にお子さんと一緒に外出したときに、実地で具体的に伝えていただくことが効果的です。

以下、前述の「校外だより」からの引用です。

### 「上末吉3丁目」

- ・学童クラブに通う児童は、学童の指示で大通りを通って行っているので通学路以外の道を通っている姿が見られた。
- ・歩道では左側を歩く児童が多かったように思う。

### 「上末吉4丁目」

- ・多くの児童が正規の下校ルートを守っておらず、通学路を通る児童の数が極端に少なかった。
- ・信号のない横断歩道では、児童がとまっているにも関わらず、とまってくれる車両はほとんどなく危険を感じた。

### 「上末吉5丁目」

- ・下校ルート以外の横断歩道を渡っている児童がいた。
- ・カドヤ前の信号待ちで、ギリギリまで前に出て待つ児童がいて危険を感じる。
- ・ガードレールに寄りかかって待つ児童もいた。
- ・信号が青になっても道路渋滞のため横断歩道上に車が停止しているので、その車の間を縫って渡る姿に危険を感じた。

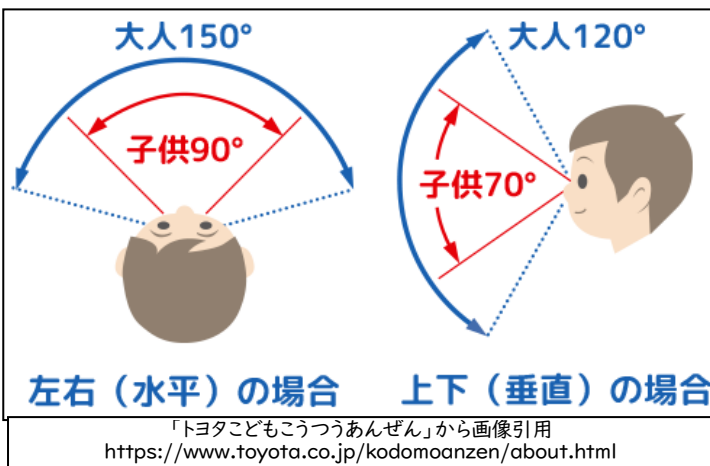
### 「駒岡」

- ・道いっぱい広がって歩いたり、曲がり角を勢いよく走っていたりする児童がいた。
- ・子どもたちが話しかけてくれたり、元気よく挨拶をしてくれたりした。

### 「三ツ池」

- ・下校ルートに歩道がほとんどないため、道路の真ん中付近まで広がって歩いている児童がいた。
- ・横断歩道のない道路を斜めに横断している児童がいて危険を感じた。
- ・子どもたちが「ありがとうございます。」などの声をかけてくれたり、きちんと挨拶をしてくれたりした。

具体的にご指摘いただいている内容がとてもありがたいです。ぜひ、全ご家庭で、お住まいの地区の内容に沿ってお子さんとお話していただけたらありがたいです。



スウェーデンの児童心理学者ステイナ・サンデルス氏の実験では、大人と子ども(6歳児)の視野に大きな違いがあることが検証されています。小学校低学年児童の事故が多いのも、単なる不注意ということではなく、器質的な理由が存在しているのです。だからこそ、子どもの視点に立って交通安全について考える必要があります。

利便性を追求して「クルマ社会」を築いたのは大人を中心とした文化形成によるものです。子どもを交通事故から守ることは、大人の使命だといえます。